

春の火災予防運動「駆け付け訓練」を実施しました

恒例の「駆け付け訓練」を4月5日～11日に開催された春の火災予防運動の初日に、仙北市管内4箇所を実施しました。

この訓練は火災が発生したと想定して、迅速に災害場所へ駆け付けるために行っています。

日曜日の早朝ではありましたが、団員は市民の生命・財産を守るために、きびきびとした動作で訓練をしておりました。皆さんも応援をどうかよろしくお願い致します。



生保内小学校で防犯キャンペーン

4月8日、たざわ湖防犯巡回隊(坂本邦夫隊長)、仙北警察署などが、生保内小学校の新入学児童を対象に、防犯キャンペーンを行いました。

同校玄関前で、下校する児童に隊員が防犯チラシを配布。「知らない人にはついていかない」や「すぐ逃げる」など、不審者への対処法を呼びかけました。

また、日本民謡協会田沢湖支部の会員が手踊りを披露し、入学を祝いました。



歩道完成 駅からのミズバショウ観賞がより安全に

JR刺巻駅からミズバショウ群生地までの、国道沿いの歩道が完成し、4月10日、歩き初めが行われました。

今までは、車道脇を通らなければ、駅とミズバショウ群生地の往復が出来ず、特に観賞シーズンは車や観光客が多くなることから、交通事故等が心配されていました。昨年・一昨年の2年間は、ミズバショウ祭りシーズン限定の仮設歩道で対応していましたが、ついに、念願の常設歩道が完成しました。また、歩道の整備とともに、駐車場の舗装と、群生地わきの観賞用歩道の整備も行われ、より魅力を増したミズバショウ群生地になりました。

今年のミズバショウ祭りは、歩道が完成した翌日の4月11日から始まりました。魅力を増したミズバショウ群生地は、今年もたくさんのミズバショウが咲き、たくさんのお客様を魅了しました。



戦争の記憶を風化させてはいけない……

3月19日、仙北市遺族連合会主催にて角館樺細工伝承館において「戦争体験談を聞く会」が開催され、約100名の参加がありました。

「戦没者追悼と平和の願い」のDVDを視聴後、美郷町の田沢正義氏を講師として戦争体験を語る貴重な講演が行なわれました。田沢氏は、歩兵隊(司令部暗号係、警備係)として、中国を始め西部ニューギニア、インドネシア(マノクワリ、プラフイ)に4度出兵した体験があり、出兵当時の食うや食わずの厳しい戦火の状況を語られました。

当遺族連合会では、高齢化等により会員数が減少する中、あのいまわしい戦争の記憶を風化させてはならないと、研修会をかねて行なわれたものです。

